



①リサイクルおもちゃ②
丁寧に水彩画を完成させる③英語で買い物ごっこ
④図形を描く塾生⑤風力
発電づくり⑥丁寧に朗読

ることにより、それに気付いた子どもたちが自らの力で伸びていく。そこには、一人ひとりの興味・関心に応じた学習が存在する。市内外の著名な先生から好きなことを存分に教えてもらえる喜び。無限の可能性を秘めたダイヤの原石は、一流の職人に磨かれることによつてまぶしいほどの輝きを放った。

閉村式で子どもたちの表情は自信に満ちあふれていた。朗読表現村で講師を務めた上藤美紀代さんは「昨年まいた種が着実に育っていることを実感することができました。講師も塾生から学ばせてもらいました」と評価した。

この夏、灯台村塾で子どもたちは、学校では学べないことを学んだ。学校の垣根を越えて交流をすることもできた。そして、自分たちの夢に向かって確実に一歩踏み出すことができた。

最後に、増田教育長から修了証書を受け取った塾生たちは、また来年ここに來ることを誓い合った。同じ夢をもつ友と共に――。



取材を終えて

この夏、子どもたちは、自分の夢や目標に向かって精一杯努力し、大きく成長した。炎天下のグラウンドや蒸し風呂のような暑さの体育館で汗だくになって練習している子どもたちを見たとき、自分も頑張ろうと強く思った。指導者たちは口を揃えて「支えてくれる地域の人がいるからこそ、子どもたちは頑張ることができると言う。子どもたちが安心してスポーツに打ち込み、希望を持って学習できる環境をつくらう。そして、キラキラと瞳を輝かせ、夢に向かって頑張る子どもたちを市民みんなで応援していこう。

夏の足跡 終